取 扱 説 明 書

バーディーティラー用作業機
“ハンマーナイフローター”

H75B

1713-70010

●取扱説明書本文中に出てくる重要危険部分は、製品を使用する前に注意深くお読みいただき、十分理解してください。
●本製品ご購入の際には、販売店より安全のための使用方法についての説明をお受けください。
●取扱説明書はいつでもごらんになれるよう、品質保証書とともに大切に保管してください。
●安全性維持のため、本紙定期点検表に従い年次点検をお受けください。（有料）
●各種サービスをお受けになる際には必ずメーカー純正部品とご指定ください。

株式会社　オーレック

《販売店様へ》
本製品納品の際には納品前点検を行い、お客様から商品受領書をお受け取り後、①メーカー控えを専用封筒にてご返送願います。

目　　次

項　目　　頁

《はじめに》 1

《重要なお知らせ》 1

《本製品の規制について》 1

《保証・契約書・免責事項》 1

《定義とシンボルマークについて》 2

《安全に作業をするために》 2

《機械を他人に貸すときは》 4

《各部の名称》 5

《各部のはたらき》 6

《上手な作業のしかた》 7

運転前の始業点検 7

草刈り作業のしかた 7

《保管に関して》 8

《オイルの点検・交換・注油のしかた》 9

ギヤオイルの交換・注油 9

《ナイフの点検・交換のしかた》 9

ナイフの点検 9

ナイフの交換 10

《仕　様》 11

《工具袋・同梱品明細》 11

《消耗品明細》 12

《定期自主点検表》 12

《自己診断表》 13

《はじめに》

このたびは、本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございました。

この取扱説明書は本製品を常に最良の状態に保ち、安全な作業をしていただくために、正しい取扱い方法と簡単なお手入れ方法について説明してあります。

ご使用の前に必ずこの取扱説明書を良くお読みいただき、安全な運転作業と正しい取扱い方法を十分理解し、安全で能率的な作業にお役立て下さい。

⚠警告 又、お読みになった後はいつでも取り出してご覧になれるよう大切に保管し、本製品を末永くご使用頂けますようご活用下さい。

《重要なお知らせ》

a)性能・耐久性向上及びその他諸事情による部品等の変更で、お手元の製品の仕様と本書の内容が一部一致しない場合があります。

b)本書の内容の一部又は全部を無断で複写複製(コピー)する事は、法律で定められた場合を除き、著作権の侵害となりますので予めご注意下さい。

c)本書では説明部位が具体的に理解できるよう、写真、イラストを用いています。説明部位以外は省略されて表示されている場合があります。

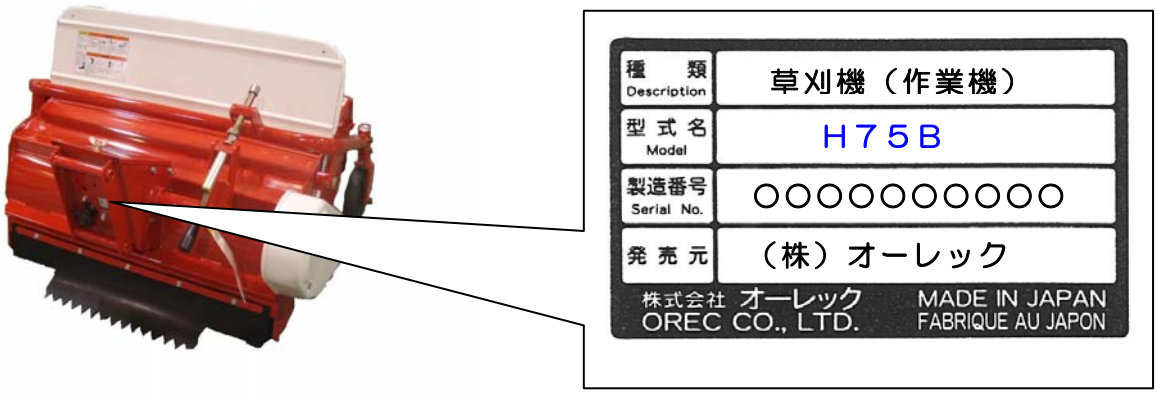
d)本書は日本語を母国語としない方のご使用は対象としていません。

《本製品の規制について》

本機は、BX80／H75B 専用の農業用草刈作業機です。これ以外を目的とした使用については保障対象外となります。又、地を這うように伸びるツタ、ツル等の草については刈取れない場合もあります。

《保証・契約書・免責事項》

- 本書とは別に本製品には品質保証書が添付されています。必ず品質保証書裏面の保証規約を良く読んで理解しておいて下さい。
- 本製品の保証期間は、新品購入から**１ケ年、又は５０使用時間**(請負業務用については**６ケ月**間、もしくは**５０使用時間**)の内どちらか早い時点で到達した方となっています。
- 全ての注意事項を予測する事は不可能です。製品を使用する際には作業者側も安全への配慮が必要です。
- 本書を読んでも判らない場合には勝手な操作はせず、必ず製品お買い上げの販売店(以降販売店)までご相談下さい。
- 製品を安全に効率よくご使用し続けて頂くためには定期的な点検・整備が不可欠です。「定期自主点検表」及び「年次点検表」に記載のある定期的な点検・整備を必ず最低**毎年１回**は販売店まで依頼しましょう(有料)。これらの点検・整備を行わなかった事及び仕様を越えた使用・改造等本書に従わなかった事に起因する故障・事故に関しては保証の対象外となります。
- ご不審な点及びサービス等に関するご質問は、販売店までご相談下さい。その際、**『商品型式と製造番号・搭載エンジンの型式名(エンジン本体に刻印又は貼付されています。)』**を併せてご連絡下さい。



◎この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、**製造打ち切り後９年**と致します。但し、供給年限内であっても、特殊部品につきましては納期等についてご相談させていただく場合もあります。

《定義とシンボルマークについて》

本書では、危険度の高さ(又は事故の大きさ)に従って、次のような定義とシンボルマークが使用されています。以下のシンボルマークがもつ意味を十分に理解し、その内容に従って下さい。

シンボルマーク	定　　義
⚠ 危険	回避しないと、死亡または重傷を招く確率の高い危険な状態を示します。
⚠ 警告	回避しないと、死亡または重傷を招く可能性がある潜在的な危険状態を示します。
⚠ 注意	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招く可能性がある潜在的な危険状態を示します。
注 意	回避しないと物的損害を引き起こす可能性がある潜在的な危険状態を示します。
参 考；	操作、保守において知っておくと便利な製品の性能、誤りやすいミスに関する事項を示します。

《安全に作業をするために》 …重要危険項目…

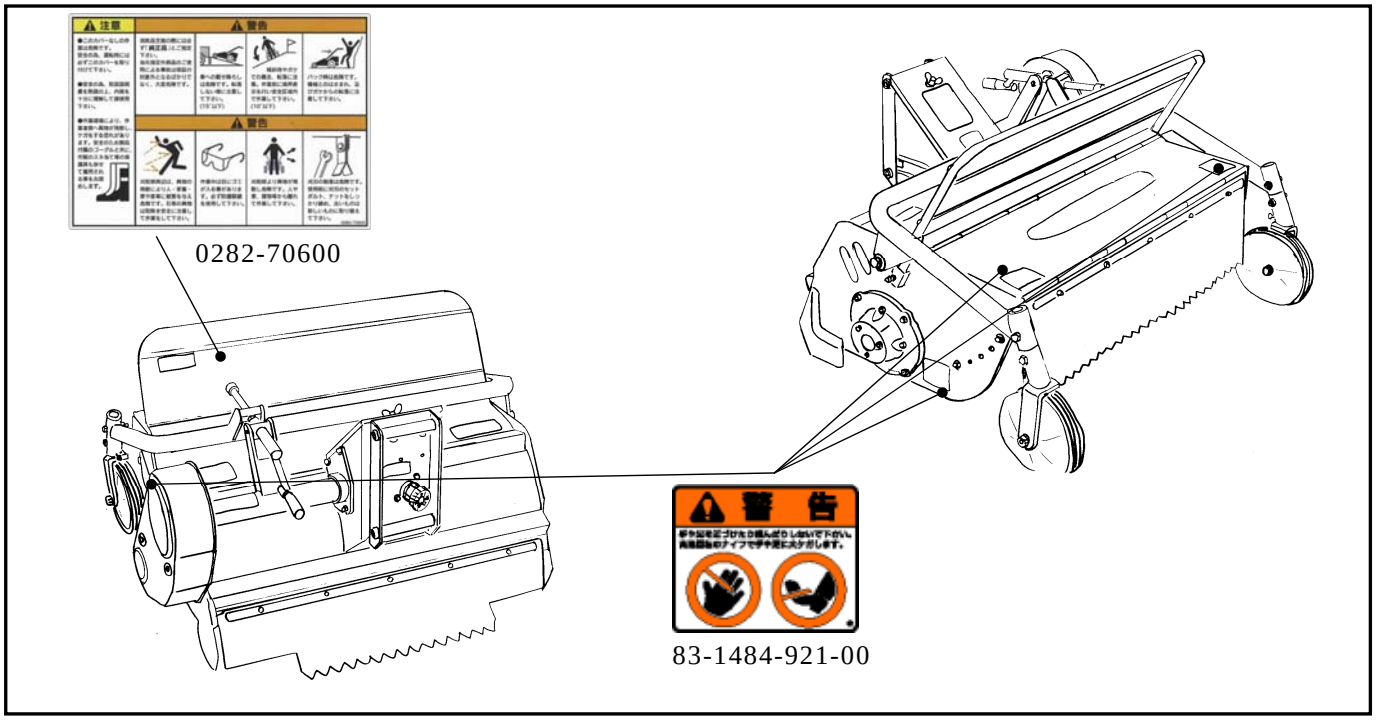
（１）警告表示マーク

・以下の危険表示マークは本項目内における重要危険事項の中から特に重要なものとして本体に貼付されています。ご使用の前に必ずお読みいただき、十分理解して必ず守って下さい。

●…**危険表示マークが見えにくくなった場合には、貼り変えるなどして常にはっきり識別できるようにしておいて下さい。**　〈12 頁…消耗品明細　参照〉

⚠危険

本機はガソリンを燃料としており、作業中はもちろん機械のそばでのくわえたばこや焚き火等の裸火照明は引火の危険がありますので絶対にしないで下さい。



（２） 作業前の注意

・本機の運転に際しては、使用上の注意事項を十分理解し、安全運転を徹底して下さい。

・所有者以外の人は使用しないで下さい。

・過労、病気、薬物の影響、その他の影響により正常な運転操作が出来ない時には作業を控えて下さい。又、酒気を帯びた人、妊婦、若年者、未熟練者も作業をしないで下さい。

⚠警告 機械の回転部に巻き込まれたりしないよう、作業衣は長袖の上着に裾を絞った長ズボンを着用し、滑り止め(スパイク)のついた安全靴や帽子又は、ヘルメット、防護眼鏡、スネ当て等を必ず使用して下さい。

⚠注意 作業を開始するときには、周囲に人や動物、車両等が無いことを確認し、作業中は半径１０m以内にこれらのものを近付けないで下さい。

⚠警告 安全のためのカバー類はもとより、標準に装備されている部品を外しての運転は非常に危険です。安全のためこれらのカバー類、部品は必ず装着した状態で使用して下さい。

⚠警告 ナイフの脱落は危険です。ナイフのセットボルト・ナットをしっかり締めて下さい。又、古いものは新しいものに取換えて下さい。

⚠警告 ナイフ交換のための開閉カバーがあるものは、開いたままの使用は危険です。必ず閉めた状態で使用して下さい。

⚠警告 小石やその他の異物は事前に取り除き、障害物は事前に目印となる物をつけた後で作業を始めて下さい。又このような圃場では安全のために通常よりも高刈りで作業を行って下さい。ナイフが欠けたり石等の異物が飛散し危険です。

・転落防止のため、川や崖に向かっての作業はしないで下さい。

・ナイフクラッチが「切」の時、ナイフが確実に止まっているか点検し、もし少しでも動いている場合には速やかにエンジンを停止しベルト押え､ワイヤ調整をして下さい。

⚠警告 １０°を超える傾斜地での作業や、トラック搭載用ブリッジの勾配が１５°を超えると危険です。安全作業のため、これらの勾配角度未満でご使用下さい。

⚠警告 斜面で不要に走行クラッチを切ったり、変速レバーを中立にすると暴走し危険です。斜面では、これらの操作をしないで下さい。

・平坦部と傾斜部との境目（路肩）を走行する場合は、路肩崩れや転落の危険性があります。十分に安全な平坦地を走行して下さい。

⚠警告 暗い時、視界が悪いときの使用は危険です。周囲の状況が十分に把握できない環境では使用しないで下さい。

注意 安全作業の妨げとなるような本機の改造(夜間作業用のライトの装着、ナイフカバーの切断等)は絶対にしないで下さい。これらの改造に起因する事故、及び不具合に関しては一切の責任を負いかねます。

（６） 作業中の注意

・安全のため、余裕を持った運転を心掛け、急発進・急停止・急旋回はしないで下さい。

⚠注意 健康のため、１時間以上継続して製品を使用することは避けてください。必ず１時間毎に１０分程度の休息を取るようにして下さい。

・刈取りクラッチは、人(子供含む)や動物がいない事を確認し、安全に十分注意した後に操作して下さい。（該当製品）

・バックする時は、子供や動物がいない事を確認して機械と壁との間に挟まれたり、崖からの転落等がない様足場に注意して下さい。

・ベルトスリップによる異常な音・匂い・発熱は火災の原因です。その様な時は、すぐにエンジンを停止して点検・修理して下さい。

⚠注意 刈取部全周にわたり、石等の異物が飛散し大変危険です。人や車、建物などから離れて十分ご注意の上作業して下さい。安全の為、保護眼鏡を必ず装着し、必要に応じてスネ当て等の保護具も併用する事をお奨めします。

参考；

・凸凹の多い圃場では刈高さを高くして使用して下さい。

⚠警告 回転部分は危険です。とくにナイフカバー内は危険ですので、運転中は身体を近付けないで下さい。

⚠警告 石等、危険物の多い場所では事前に石等の異物は取り除き、障害物の位置を確認した後に目印等をつけ、安全のため通常よりも高刈りで作業をして下さい。ナイフが欠けたり、石が手前に飛んできたりして危険です。

参考；

- 作業中、石・木株等に当たったときは、直ちにエンジンを停止し、ナイフの回転が停止した事を確認後、欠けや曲がりの有無を調べ必要であれば修正・交換をして下さい。
- 刈取方向を切り替える時には、その前後方向の安全性を確認した後に行って下さい。

（８）点検・整備時の注意

・機械の点検・調整・整備をする時は、必ずエンジンを停止して下さい。

注意 品質及び性能維持のためには定期点検が不可欠です。始業・月次点検は所有者ご自身で、年次点検は販売店(有料)へご依頼下さい。定期点検を怠ったことによる事故・故障については責任を負いかねますのでご注意下さい。

⚠警告 ベルトやナイフ部の安全カバー、及び飛散防止用のカバーの破損は危険です。作業中に異常を感じた箇所はそのままにせず、必ず作業を中断して点検、また作業終了後に再度点検し、必要な修理をしておいて下さい。

・取り外した回転部のカバー類は、必ず元の位置に正しく取付けて下さい。

・ナイフセットボルトは安全の為、ナイフ交換の際には一緒に新品と交換して下さい。

⚠注意 点検・整備又はシートをかける場合には火傷や火災を防ぐため、エンジンの停止後マフラやエンジン本体の冷却状態を十分確認した上(エンジン停止後１０分以上)で行って下さい。

・ナイフブレーキ、走行(駐車)ブレーキのあるものについては安全の為使用時間が１００時間に到達しない時点でブレーキシュー又はその全体を交換して下さい。

《機械を他人に貸すときは…》

所有者以外の人には使用させないのが原則ですが、やむを得ず機械を他人に貸すときには、取扱い方法を説明し、「取扱説明書」をよく読んでもらい、取扱い方法や安全のポイントを十分理解してから作業をするように指導して下さい。

機械と一緒に「取扱説明書」も貸して上げて下さい。

親切心から機械を他人に貸して、借りた人が不慣れなために思わぬ事故を起こしたりするとせっかくの親切があだとなってしまいます。

《各部の名称》

②ギヤボックスカバー
④前輪フォーク
①フロントカバー
⑥フラッパー
⑤カバー開閉固定ボルト
⑦安全カバー
③刈高調整レバー

《各部のはたらき》

①フロントカバー

ナイフの交換及び、ナイフの点検、整備を行いやすくするためにカバーを上下方向へ開閉できます。作業時は、常にカバーを最も下げた状態で使用してください。

②ギヤボックスカバー

このカバーの内にギヤボックスが有ります。使用前にギヤボックスへ注油してください。

③刈高調整レバー

刈高さの調整を行います。

右に回すと刈高は低くなり、左に回すと高くなります。

圃上にうねりがある場合は、凸の方に刈高さを合わせ、ナイフへの泥や石の噛み込みがないように調整して下さい。

⚠ 注意

刈高を低くしすぎると下記のような弊害が発生する恐れがあります。下記のような症状が見られる場合は、刈高が低すぎますので高くして下さい。

(1) 石等の異物の飛散が多くなる。

(2) 泥を削り、飛散した泥がナイフカバー内に付着し、刈草の吐き出しが悪くなり、無駄な馬力ロスが発生する。

(3) ナイフの摩耗が極端に早くなる。ナイフがすぐに折れる。

④前輪フォーク

この部分のボルトを取り外すと、前輪が自在に動きます。（H75B のみ）

⑤カバー開閉固定ボルト

フロントカバーを上下に動かし固定する時に子のボルトで固定します。

⑥フラッパー

ロータリーよりの、石や異物の飛散を防止するためのものです。

⚠ 警告

フラッパーを上げたままの作業は石や、異物が飛散し非常に危険です。必ずフラッパーは下げてお使い下さい。

⑦安全カバー

このカバーは、ロータリーよりの飛散物からオペレーターを守るためのものです。必ず取り付けて作業してください。

《上手な運転のしかた》

運転前の始業点検

安全で快適な作業を行うために**「定期自主点検表」**〈12 頁参照〉に従って始業点検をおこない、異常箇所は直に整備をしてから作業を始めて下さい。

⚠ 警告 本機に貼られている注意、危険マークも良く読んで下さい。

草刈作業のしかた

⚠ 警告

- ●安全カバーは必ず取り付けて下さい。針金等が作業者側に飛散する恐れがあります。
- ●圃場内の障害物、側溝、軟弱な路肩、傾斜(限界傾斜角度１０°)のあるところ、地面の凸凹等危険な場所には目印を立てて誤って接近しないように注意して下さい。
- ●ナイフにからみ付いた草や針金その他の異物を取り除く際には、必ずエンジンを停止してから行って下さい。
- ●作業範囲以内に人(特に子供)が入り込まないよう、草刈り作業中である旨の立て札やガードロープを張るなどし、半径１０m以内にこれらのものを近づけないで下さい。
- ●ナイフの回転中ナイフカバー内部は高速で回転するナイフで危険です。絶対に草等をナイフカバー内へ蹴り入れたり、作業進行方向へ立ったりしないで下さい。
- ●作業中、刈取部が障害物と接触した場合には、作業を中断しエンジンを停止して損傷を調べ、異常があればすぐに修理して下さい。修理しないで作業を再開すると思わぬ事故につながります。

⚠ 注意

- ・作業衣は、長袖の上着に裾を絞った長ズボンを着用し、滑り止めのついた長靴や帽子又は、ヘルメット、防護メガネを必ず着用して下さい。
- ・切り株、石、針金、空カン、棒切れ等の異物は作業前に取り除いて下さい。
- ・石等異物の多い圃場での作業については、これらの飛散による被害を防止するため高刈りをする等、安全に十分注意して下さい。
- ・本機は、刈取部からの異物の飛散を最小に抑える様設計されていますが、構造上刈取部前方については、異物飛散の可能性があります。このため、人・建物等異物の飛散による事故が想定されるものに向かっての作業は行わないで下さい。

参考:

- ・初めて本機を使用するときは石等の異物のない平坦地を選び、ゆっくりと刈り跡が少し重複するようにまっすぐ刈って下さい。
- ・刈取られた草は、ナイフカバー内で粉々に粉砕され、後部から排出されます。草が濡れたままの状態で作業を行うと、刈草がナイフカバー内に堆積し、排出能力が低下します。結果として短い草でもすぐにエンストしてしまうようになりますので、ナイフカバー内に堆積した草屑はこまめに取り除くか、草が乾くまで待って作業を開始して下さい。
- ・エンジンに高負荷がかかるようでしたら、速度を一段落とすか、刈高さを上げて 2 回刈りをするかして下さい

①草刈り作業をする時は、フロントカバーは常に最下部へ下げた状態で使用してください。飛散物が飛び出して危険です。

②作業状況に合わせて刈高調整レバーで刈高さを調整して下さい。

参考:

最初は高めに刈高さを調整し、作業をしながら状況に合わた刈高さにして下さい。

《保管に関して》

・ロータリーカバー内の草屑はこれが乾かない内にホース等で加圧した水で掃除を行うと比較的簡単に洗い落とすことができます。
・掃除終了後はカバー等をかけ、屋根のある乾燥した場所に保管して下さい。

《オイルの点検・交換・注油のしかた》

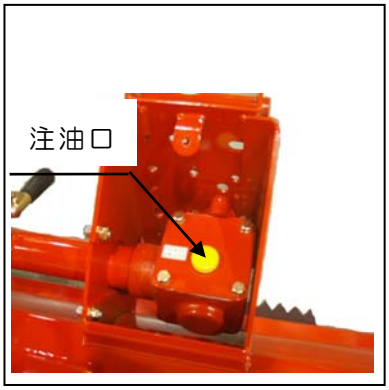
⚠注意

●出荷時本機にオイルは入れてありません。始めて本機をご使用になる前には、必ず指定の箇所に指定のオイルを指定の量だけ入れて下さい。

・定期的なオイルの交換は、本機を常に最良の状態で使用するために是非必要です。

■交換後の廃油は適切な処理をして下さい。■

ギヤオイルの交換・注油



◎注油ー

ギヤボックスカバーを外して、注油口よりギヤオイル（#90）を 0.2 リットル入れて下さい。

◎交換ー

初回は 30 時間目、それ以降は 100 時間運転毎を目安に交換して下さい。

《ナイフの点検・交換のしかた》

ナイフの点検

■作業を安全に行うため、ナイフの作業前点検をおこなって下さい。■

⚠警告

・前回の作業時に縁石や木の根等にナイフが当たり、ナイフの曲がりや欠損が生じていないか、又、ナイフが摩耗していないか作業を始める前に点検して下さい。

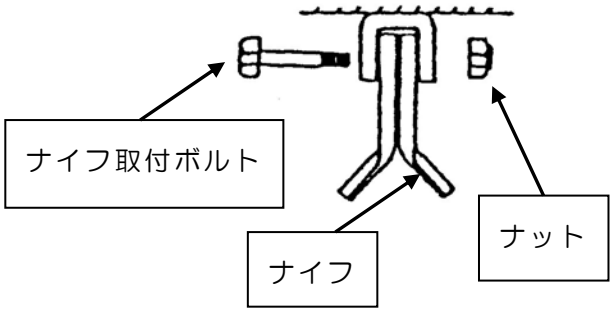
ナイフの摩耗、割れ、曲がり、欠損等を放置したまま作業を続けると、作業中にナイフが折損して飛び出し、作業者や付近にいる人に当たったりして重大な人身事故を招く原因となったり、振動によりエンジンからの出火原因となる場合があります。

・ナイフは高速で回転します。一本でもナイフが欠けたり、折損したりするとそれだけで振動の原因となります。振動したまま作業を続けると危険なばかりでなく、振動により本機各部にヒビや割れ発生の原因となり、本機寿命を著しく縮めます。

・ケガを避けるため、点検・交換は丈夫な手袋をつけるか、又は布切れでナイフの先端を包んで行って下さい。

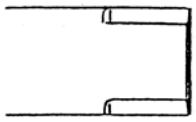
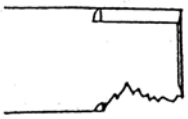
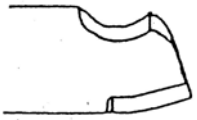
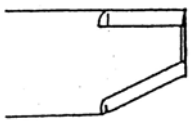
・ナイフの点検・交換は必ず本機（BX80、BX80A）より作業機を取り外し、作業機単独で行ってください。

ナイフの交換



①ナイフの交換・修正等の作業は適切な工具と整備技術をお持ちの方が実施してください。
②作業をする時は手を滑らさないように十分注意して下さい。
③前タレを上げ、ロータリーカバーを上方向へ開くと作業がしやすくなります。
④ナイフ取付ボルトも摩耗します。ナイフを交換する際には必ずナイフ取付ボルト及びナットも同時に交換するようにし、決して他のボルト、ナットで代用はしないで下さい。
★交換の際には元の通りにしっかりとナイフ取付ボルトを締めつけておいて下さい。

・ナイフの割れ、曲り、摩耗を点検して下さい。
下図の様に異常な状態になっていたら裏返して使用するか交換して下さい。

新　品	交換		
	欠損	曲がり	摩耗(修正限界)
			

参考；
・乾燥した土や砂を含んだ場所での使用はナイフの摩耗が早いため頻繁に点検して下さい。
・予め予備のナイフをお買い求め頂き、手元におかれておくことをお奨めいたします。
・ナイフドラムの振れも振動の原因となります。ナイフドラムの修正はできませんのでナイフドラムASSYでの交換となります。
・ナイフは両刃となっていますので、使用側のナイフが摩耗したら裏刃と交換できますが、この場合には全数をおこなって下さい。

《仕　様》(参考数値)

名称・型式	ハンマーナイフローター　H７５B
全長×全幅×前高(㎜)	750X900X500
刈　幅(㎜)	740
重　量(㎏)	72
刈　高(㎜)	10～100
ナイフ(枚)	44
ベルト(本)	LB-35X2
作業能率(a/h) BX70,BC70 BX80,BX80A にセット時	１速　6.3
	２速　13.0
	３速　23.6
	４速　48.8

※本仕様は改良のため予告なく変更する事があります。

《工具袋・同梱品明細》

No.	部　品　名	規格・寸法	個数	備　　考
1.	取扱説明書		1	
2.	品質保証書		1	
3.				

《消耗品明細》

No.	部　品　名	部品番号	個数/台	備　　考
1.	フリーナイフ	80-1610-821-00	44	
2.	取付ボルト set	83-1610-835-00	22	
3.	V ベルト（LB35）	89-1623-003501	2	
4.	ナイフ警告マーク	83-1484-921-00	4	手足危険
5.	HR 警告マーク	0282-70600	1	

《定期自主点検表》

★点検や整備を怠ると事故や故障の原因となる事があります。正常な機能を発揮させ、いつも安全な状態であるようにこの「定期自主点検表」を参考に点検を行って下さい。
★年次点検は 1 年に 1 回、月次点検は 1 ヶ月に 1 回、始業点検は作業を開始する前に毎日点検を行うようにして下さい。

項　目		点　検　内　容		点検実施時期		
				始業	月次	年次
伝達装置	ベルト	①弛み。	ベルトの張り具合は適切か。	○	○	○
		②損傷、汚れ。	亀裂、損傷、著しい汚れはないか。		○	○
	ギヤボックス	①異音、異常発熱及び作動。	作動に異常はないか、又、異音、異常発熱はないか。		○	○
		②油量、汚れ。	オイルの量は適切か、又、著しい汚れはないか。			○
		③油漏れ。	オイルシール、パッキン部に油漏れはないか。	○	○	○
車体	車　体	亀裂、変形及び取付ボルト・ナットの弛み、脱落。	フレームの亀裂、変形、ボルト・ナットの弛み、脱落はないか。		○	○
	カバー	亀裂、変形、腐食。	亀裂、変形、腐食はないか。			○
	表示ﾏｰｸ	損傷。	警告ラベル及び銘板が損傷なく取り付けられているか。		○	○

※＊印は販売店にご相談下さい。但し、有料となります。

《自己診断表》

もし次のような現象が発生した場合には、取扱説明書を参照して適切な処置をして下さい。

現　　象	原　　因	処　　置
刈草がうまく放出しない。	草が湿っている。	草が乾燥してから作業する。
	草が長い。	刈高さを高くして、二度刈する。
	刈高さが低い。	刈高さを高くする。
	エンジン回転数が低い。	最高回転数にする。
	作業速度が速い。	作業速度を落とす。
刈残しが出る。	作業速度が速い。	作業速度を落とす。
	エンジン回転数が低い。	最高回転にする。
	ナイフの摩耗、破損。	新しいナイフと交換する。
	ナイフカバー内への草屑の堆積。	ナイフカバー内面を清掃する。
	草が長い。	二度刈りをする。
土削りを発生する。	刈高さが低い。	刈高さを高くする。
	旋回速度が速い。	旋回時の速度を落とす。
	地形にうねりがある。	草刈りパターン(刈取方向)を変える。
	地形に起伏(凸凹)が多い。	刈高さを高くする。
	ナイフの曲がり。	新しいナイフと交換する。
ナイフがスリップする。	ベルトの張力が低い。	ベルトの張力を調整する。
	ナイフカバー内に異物が詰まっている。	ナイフカバー内を清掃する。
	プーリへの草の堆積。	プーリをきれいに清掃する。
	ベルトの摩耗。	新しいベルトと交換する。
振動が大きい。	ナイフのバランスが悪い。	ナイフを交換する。(全ナイフ)
	ナイフの損傷。	新しいナイフと交換する。
	ナイフネックガード内への草の堆積。損傷。	ナイフネックガードを清掃、交換する。
	ナイフ軸が曲がっている。	ナイフ軸を交換する。
	ベルトの破損。	新しいベルトに交換する。
	新旧のナイフが混在している。	新旧のナイフは混在させない。
刈り取り作業負荷が大きい。	エンジン回転が低い。	エンジン回転を上げる。
	作業速度が速い。	作業速度を落とす。
	ナイフの回転軸周りに草が堆積、又は巻きついている。	ナイフをきれいに清掃する。
	草が長い。	刈高さを高くして、二回刈りをする。
	刈高さが低い。	刈高さを高くする。
注油栓が作業中飛び出した。	ミッションオイルの入れすぎ。(内圧過上昇)	正規のオイル量にする。

※ わからない場合には、お買い上げいただいた販売店にご相談下さい。

ＯＲＥＣ

本社.広川工場　〒834-0195 福岡県八女郡広川町大字日吉５４８－２２
TEL(０９４３)３２－５０５７
FAX(０９４３)３２－３５１８

仙台営業所　〒983-0821 宮城県仙台市宮城野区岩切２丁目１－１５
TEL(０２２)２５５－３００９
FAX(０２２)２５５－３０３９

関東営業所　〒346-0106 埼玉県久喜市菖蒲町菖蒲2800
TEL(０４８０)８７－３００８
FAX(０４８０)８７－３００９

長野SC　〒387-0012 長野県千曲市桜堂字西沖３３５－１
TEL(０２６)２７３－５６８６
FAX(０２６)２７３－５６８７

名古屋営業所　〒491-0833 愛知県一宮市平島1-1-16
TEL(０５８６)７７－７００２
FAX(０５８６)７７－７００３

岡山営業所　〒700-0951 岡山県岡山市北区田中１２３－１０４
TEL(０８６)２４５－２５６８
FAX(０８６)２４５－２５６９

福岡営業所　〒834-0195 福岡県八女郡広川町大字日吉５４８－２２
TEL(０９４３)３２－４７７８
FAX(０９４３)３２－３５１８

鹿児島営業所　〒899-6404 鹿児島県霧島市溝辺町麓８４３－６
TEL(０９９５)５８－３９９１
FAX(０９９５)５８－２４９１